

## 岩倉市自治基本条例審議会議事録

会議名称	第4回岩倉市自治基本条例審議会	
開会及び閉会日時	平成29年3月27日(水) 午後3時から午後5時15分	
開催場所	岩倉市役所 第1委員会室	
会長氏名	岩崎 恭典(四日市大学教授)	
出席委員 所属等、氏名	識見を有する者 元岩倉市自治基本条例検討委員会委員長 元岩倉市自治基本条例検討委員会委員 元岩倉市自治基本条例検討委員会委員 市内の事業者(石塚硝子株式会社) 市内の事業者(ミヨシ油脂株式会社) 公募委員 公募委員	岩崎 恭典 山田 育代 長谷川 博 村平 進 黒木 崇弘 神尾 克久 花井 喜美子 岡本 里恵子
欠席委員 所属等、氏名	公募委員 公募委員(市民登録制度)	船橋 悦子 関戸 誠
事務局 職氏名	総務部長 協働推進課長 協働推進課統括主査 協働推進課主任 秘書企画課長 秘書企画課統括主査 秘書企画課主任	山田 日出雄 小松 浩 小崎 尚美 須藤 隆 佐野 剛 小出 健二 渡邊 拓己
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 (1) 岩倉市自治基本条例推進計画の進捗状況について (2) 協働の取組状況シートについて (3) 審議会報告書について 4 その他	
配付資料		

### 3 議 事

〔(1) 岩倉市自治基本条例推進計画の進捗状況について資料に基づき事務局より説明〕

#### ◇計画番号 (2) 一カ「行政評価の実施と結果の公表」(秘書企画課)

**委員** 施策の評価で◎の数が増えているが、平成 26 年度に◎だった 12 件は全て◎で変更なく、新規に 6 件増えているのか。

**事務局** 平成 26 年度◎だった施策は評価の変更がなかった。○だったものが△になったり、△だったものが○になったりしたものはある。

**委員** 担当課の自己評価を秘書企画課のヒアリングで変更するケースもあるのか。

**事務局** 施策の実施内容と課題を確認しながら評価を見直したりすることがある。平成 27 年度に総合計画の中間見直しを行い、目標を達成している指標は変更をしたものもあるので、来年度に評価する平成 28 年度施策の評価は若干下がる可能性がある。

**会長職務代理** 達成しているものは新たなハードルを設けて更に良いものにしてもらいたい。

**委員** 市が自分たちで評価するばかりでなく、将来的には市民等の外部に評価してもらえると良いと思う。

**事務局** 課題でも外部評価について触れているが、大きな課題だと認識している。現状、多岐に渡る自治基本条例の検証と行政改革の検証は外部評価を実施している。また、個別の計画もそれぞれで外部評価を実施しているものがある。その結果、総合計画の外部評価を実施することで、個別の計画で外部評価を実施しているものと重複して評価することになる。この課題を解決し、効率的に評価できる方法について検討中である。

**委員** 施策の評価は 3 段階で行っているのか。

**事務局** そのとおりである。

**委員** 評価は改善の余地があるかないかが大切だと思う。今の評価方法で○には、改善の必要があるが概ね順調な○と、改善の必要もなく順調である○が含まれていると思う。改善の余地があるかないかで評価を分けると良いかと思う。

**事務局** 計画期間が 10 年間の総合計画に対する評価であり、評価基準も定着してきたところである。今は計画期間の途中で評価方法の大幅な変更を検討していないが、次の計画の評価ではいただいた意見を参考に、評価の段階を増やすことも含めて検討したいと思う。

**委員** こういうものは継続性も大切で変更し過ぎても良くないので、次の段階で検討してもらえば良いかと思う。

#### ◇計画番号 (2) 一キ「危機管理及び災害等緊急時のための必要な計画の策定」(危機管理課)

**委員** 今年度から実施した業務継続 (BCP) 訓練は徒歩や自転車で参集するというので、徒歩や自転車では来れない人もいるかと思うが、この訓練でそういう人も把握できたのか。

**事務局** 今回は 4 時間以内に来れない人は対象外としたが、訓練にはできるだけ参加して欲しいので、市内に入るまでは公共交通機関も利用可能とした。公共交通機関を利用した人は市内に入ってから徒歩での参集とした。

**委員** 災害時要配慮者支援体制マニュアルの要配慮者の名簿作成に民生委員として協力したが、シートには記載がないが、記載するべきものではないのか。

**事務局** 内容が複数課にまたがることによる記載漏れかと思う。要配慮者の名簿は今後重要な情報になるので、来年度からは記載する。

**委員** 実際に災害が起きたときは自主防災会が重要な役割を担うことになるかと思うが、区の役割を決めるときにあまりその自覚がないように感じる。自主防災会連絡協議会の委員も区長が代わると代わってしまうと思うので、強化をお願いしたい。

**委員** 岩倉市には環境委員が区長等の役員とは別で委嘱されている。長年頑張ってくれたおかげで、ごみの分別マナーが非常に良くなった。環境委員は一定の役割を終えたと思うので、次は防災委員を作り、複数年で継続して頑張ってもらえば区長の交代には影響されないのではないか。

**事務局** どのような形がいいかも含めて、今後研究していきたい。

#### ◇計画番号 (2) 一ク①「地域資源の継承」(商工農政課)

**会長** 流域の自治体と連携して保全していくというのは新たな取組なのか。

**事務局** 自治基本条例策定以降の取組である。

**委員** 流域の自治体と連携した桜の保全というのは、河川法を変更し、新たに桜を植えることができるようにしてほしいという内容なのか。

**事務局** そうではない。現行の河川法の解釈等を踏まえて改善策を探すもの。

**委員** 河川法で植樹そのものを禁止しているわけではない。堤防に損傷や影響を与えなければ植樹も可能である。喫水線の問題等クリアすれば岩倉市でも新しく植えることができる場所もあると思うが、かなりの費用はかかる。市として長期的な視点で桜並木をどうしていくのかを考える必要がある。

**事務局** 愛知県のスタンスも昔に比べれば桜の植え替えについて歩み寄りが見られるようになり、桜の保全をどうしていくのがいいか一緒に考えましょうという感じになった。

**委員** 他市町村との連携に桜並木保存会のような市民活動団体にも参加してもらったらどうか。

**会長** 協働の観点からは望ましいが、広域連携の場に参加してもらうなら、岩倉市として桜並木をどうしていきたいのか明確なビジョンが必要になると思う。

**会長** ふるさと納税で桜のプロジェクトに寄附を集めるのは来年度も実施するのか。

**事務局** その予定である。桜まつりでも桜の保全にお金がかかっていることをお知らせし、寄附を呼びかける形でPRする予定である。

**会長** 桜の保全については、広域での検討結果に期待したいのと、何らかの形で市民の意見が反映されるよう考えてもらいたい。また、保全には費用もかかることから、寄附を集め多くの人に協力してもらうことで、桜並木の保全につなげてもらいたい。

#### ◇計画番号 (2) 一ク②「地域資源の継承」(環境保全課)

**会長** 昨年の審議会で市民活動団体のPRをもっとするべきではないかという意見があったが、どうなったか。

**事務局** 水辺だよりの活用とホームページで市民活動の取組を紹介している。今後も積極的に周知していきたい。

**委員** トンボの種類を回復させることを課題としているが、どのように回復させるのか。

**事務局** 総合計画の目標指標にトンボの数があるが、昔のようにたくさんトンボが飛んでいる環境を作りたいということである。

**会長** 総合計画の目標指標にもなっているとのことなので、市として多様な生態系を守るよう努めてもらいたい。

**委員** 昆虫に詳しい職員を雇用したらどうか。

**事務局** 市民活動団体のナチュラルistクラブが協力してくれている。

**会長** 金銭以外でもこういった市民活動団体に対する支援があると良いと思う。

**委員** 市民活動団体としても、市から専門的な知識をもった人を派遣してもらい、アドバイスを得られると大変ありがたい。

**委員** 水辺を守る会の要望で県が低水路工事を行ったということだが、なぜ市が要望しないで市民活動団体の要望で県を動かせたのか。

**事務局** 市も一緒に要望した。表現を誤解のないよう修正する。

**会長** 昨年の指摘を受けて、周知の方法に工夫が見られる。市民活動団体が専門的なアドバイスが受けられるような支援を行政が提供できるようになると良い。

#### ◇計画番号 (2) ーク③「地域資源の継承」(生涯学習課)

**会長** 去年の論点にもあったが、山車保存会は地域の外の人でも参加できるのか。

**事務局** 参加できる。

**委員** 400年の記念はいつか。

**事務局** 町によって少し違うが、平成38年前後になる。400年を記念して400年記念イベントを実施するため3町からそれぞれ人を出してプロジェクトを企画中である。

**委員** 岩倉市の山車はなぜユネスコの無形文化遺産に登録しなかったのか。犬山や津島にも負けていないと思う。

**事務局** 登録された団体が申請して登録されたものかどうかを含めて、登録基準の詳細は分からない。

**会長** 400年の記念行事をきっかけにして、3町で協力して山車文化の継承と保全のために、山車保存会自身で何が必要なのか考えていかないといけない。岩倉市に限った話ではないが、文化を自分たちの手で残すという情熱も大切であるが、市民活動団体が生き残るためには、積極的に門戸を開き担い手を広く募集するというのも大切である。

#### ◇公益的通報の実績報告について(行政課)

**会長** 来年度以降もこういった形で報告がされるのか。

**事務局** その予定である。

**委員** 職員に対して、副市長から通知を出しとあるが、副市長から当該職員に通知を出したのか。

**事務局** 全職員になるので、誤解を与えないよう修正する。

**委員** 公益的通報で通報した人は、通報したことで不利益を被らないよう守られているか。

**事務局** 通報した本人に影響がないよう配慮されている。

**会長** 通報した人を保護するという事は大切である。

[ (2) 協働の取組シートについて資料に基づき事務局より説明 ]

#### ◇協働の取組シートについて

- 会長** 来年度からは協働の取組状況シートについても検証していくことになる。今年度はこの資料を参考に来年度の検証方法を考える。
- 会長** 例えば協働の取組状況シートの一つ目の事業について、総事業費が0になっているが、人件費もかかっていないのか。
- 事務局** 職員の人件費がかかっていないわけではないが、この事業のみの担当というわけでもないため、人件費を算出するのは難しい。直接的な事業費を計上している。
- 会長** 地域包括支援センター事業運営の事業費は特別会計にかかる分を一括して計上してしまっている。確かに人件費を細かく算出したり包括支援センターにかかる経費を細かく拾い出したりすると難しいが、この資料で事業費を見ても議論はしにくい。例えば、市民参加条例の理念にあわせて事業をピックアップしてより細かい資料で議論しても良いと思う。
- 事務局** 事業費の算出の仕方、資料が分かりにくくなっている点もあると思う。この事業全てを検証していく時間もないので、来年度に向けて検討する。
- 会長** 本来の趣旨は、担当課が事業を評価して今後検討すべき課題をしっかりと把握することが大切である。課題のある事業、事業の中でも課題のある部分のピックアップでも良いかと思う。

### 〔(3) 審議会報告書について〕

- 会長** これまでの会議の内容を報告書にまとめてあるので、これを自治基本条例の推進に役立ててくださいということで市長に渡すことになる。

その後、市長に「岩倉市自治基本条例の推進に関する審議会報告書」を提出しました。

## 4 その他